

ヘッドハンター
が明かす
資格との賢い
付き合い方

環境の資格は 体系だった知識の 裏づけ手形

——本当に重要なのは実績。
働き盛りの時期に資格に走るの**は本末転倒**

縄文アソシエイツ
辻 信之氏

Profile 1962年岡山県生まれ。東京大学工学部卒。東京大学大学院（船舶工学専攻）修士課程修了。スタンフォード大学大学院（航空宇宙工学）博士課程修了。1987年新日本製鐵入社。1996年よりマッキンゼー・アンド・カンパニーで製造業や製薬会社などの研究開発戦略等のコンサルティングに従事。2001年より縄文アソシエイツに参加。2005年より東京大学特任准教授（技術経営戦略学専攻）を兼任。著書『「理系」の転職 あなたの本当の力を生かす』（大和書房）は、失敗しない転職のノウハウを伝える1冊。理系はもちろん文系の人にもお勧めだ。



「資格を取得するための勉強や努力、それ自体は、自分を高めるうえで役に立つ。でも、資格取得のために本来の仕事をおろそかにするのは本末転倒」と、クギを刺すのは企業幹部をスカウトするエグゼクティブ・サーチ会社「縄文アソシエイツ」で10年近く、逸材のヘッドハンティングを成功させてきた辻信之氏だ。

「我々との面談の中で、今手がけている仕事の中身より、いろいろな資格を取得していることを先に持ち出す方がいらっしやる。ところが、その資格を持っていて、次にどうするかという部分がみえてこない。我々人材のプロからすると、残念ながらこういう方は紹介できない」

というのは、縄文アソシエイツの辻氏。今日の前にある仕事のことや、今後こうしたいという話を軸に置いて話す人は、採用する側から見ても魅力的に映る。一方、「語弊を恐れずに言えば、現在の仕事に没頭できず、資格に逃げていよう人は、たとえ資格を取得して転職したとしても同じ状態が続くだろう」（辻氏）。

結局、資格の取得は、ある仕事ができるようになる入り口に過ぎないことを肝に銘じておくべきだという。一つ資格を取得したからといって、仕事の力とか、技術者またはビジネスマンとして力量が備わるわけではない。辻氏は、その資格をどう生かすのかを真剣に考えているかどうかのほうが重要だと説く。

わかりやすい例が、運転免許。免許を取ったら、運転が上手かといったらそんなことはない。路上で運転ができるというだけの話。本当の意味での「磨きこみ」はその次のステップだ。

実際、仕事を一生懸命こなす優秀な人が、たくさんの資格を取得しているという例はあまりないそうだ。第一、彼らは忙しくて

ヘッドハンター・辻 信之氏のワンポイントアドバイス

資格に逃げるな	その資格をどう生かすか	資格以上に大事な のは実績	資格と収入アップは切り離せ
今の仕事をおろそかにして、資格に走ってはいないか	資格取得しても、ビジネスマンとして力量が備わるわけではない	まずは仕事で実績を認められて、組織に貢献しよう	収入アップは実績を積んだ後についてくる

取得する時間がない。ただ、今やっている仕事の分野をさらに究めるうえで、ある資格が必須になる場合、時間をやりくりして取得を目指す人は辻氏の周りにもいるとのこと。

「仕事をきちんとこなしながら、資格を取るの**は素晴らしい**と思う。残念なのは、本当の働き盛りの時に、仕事をおろそかにして資格に走るということ。この2事例は一見同じようでいて、中身が全然違う」と力説する。

それは環境分野の資格取得においてもしかりだ。「環境」に対する世の中の関心が高まっている現在、同社にも、太陽電池やEV関連、水・土壌事業といった方面の求人が徐々に増えてきているという。エネルギー関係の投資ビジネスも拡大中だ。そんななかで、「環境」分野でキャリアを積んでいく場合、資格取得は、そのための準備を通じて自力がつくという意味においてプラスになると辻氏は考える。また、資格は、「あるレベルで体系化して、素養を身につけている」といったことの証左にはなる」という。

しかし、それよりも大事な**のは、実際の仕事の中で、きちんと業務を遂行したり、**

部下を育てたり、マネジメントをやったりといった**“実績”**だと強調する。

「〇〇大学を卒業して、〇〇会社勤務で、〇〇の資格取得者というよりも、仕事上信頼がおけて、実績があつて、嘘をつかず、逃げない、部下の信望が厚い人の方がいい。採用する側も人なので、結局人として魅力があるかどうかに尽きる」。

資格マニアなる言葉も登場するほどの近年の資格ブーム。“資格取得は収入アップにつながる”ともいわれるが、ほんとうのところは**どうなのだろうか**。

「収入アップというのは、そこで実績を積んでからの話。本来、資格と収入アップは切り離して考えるべき。資格はあくまでその仕事に必要な**通行手形**のようなもの。収入は後からついてくると**思った方がいい**」と辻氏は一蹴する。

いずれにせよ、資格取得をしたから、就職できる、収入アップできるという甘い**仕組みはない**。まずは、今の仕事での実績を認められて、しっかりと組織に貢献したうえで、資格を生かした**ビジネスチャンス**をうかがうのが賢明なようだ。